

当センターでは種々のカテーテル的治療が可能です。適応する可能性がある患者がおられましたら是非ご紹介ください。A：大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル的大動脈弁留置術（TAVI），B：僧帽弁逆流症に対する経皮的僧帽弁接合不全修復術（Mitraclip），C：僧帽弁狭窄症に対する経皮的僧帽弁交連裂開術（PTMC），D：閉塞性肥大型心筋症に対する経皮的中隔心筋焼灼術（PTSMA），E：奇異性脳梗塞再発予防のための経皮的卵円孔開存閉鎖術，F：抗凝固薬を内服できない心房細動例に対する経皮的左心耳閉鎖術。

3月に入り、まだ肌寒い日の続くこのごろ、地域医療機関の先生方は、いかがお過ごしでしょうか。依然として、新型コロナウイルス感染症の蔓延で地域医療機関の先生方もその対応に苦慮されていることとお察しします。

循環器センターは、これまで心筋冷凍焼灼術(クライオアブレーション)、経カテーテル的大動脈弁留置術 (TAVI)、大阪心不全地域医療連携会、経皮的中隔心筋焼灼術 (PTSMA)、補助循環用ポンプカテーテル (インペラ IMPELLA)、低侵襲手術(MICS)、ロボット支援下心臓手術など超高齢化、低侵襲治療などの時代のニーズに迅速に対応できるよう心がけてきました。昨年度は、僧帽弁閉鎖不全症に対するカテーテル治療 (Mitra Clip) や潜在性脳梗塞に対する経皮的卵円孔開存閉鎖術の施設認定を取得、開始し、それぞれ合併症なく良好な成績を収めています。

今回のVol.53では、2021年における循環器センターの実績をご案内いたします。今後も、コロナとの共存を見据えて、これまで同様地域医療機関との連携強化に努め、どのような心血管疾患に対しても最先端の循環器医療を身近に提供できるよう、なお一層努力したいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

特集：循環器センター 2021年を振り返って

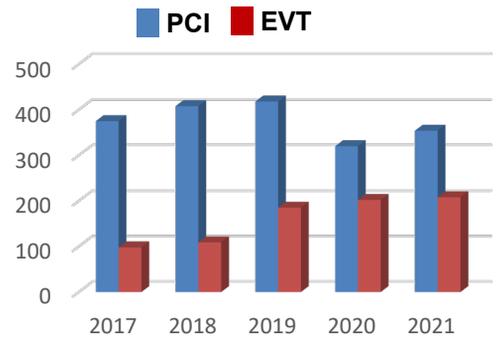
循環器内科の2021年の実績

成子隆彦がセンター長として循環器センターを運営しています。昨年と同様にコロナ禍での診療となりました。昨年減少していた部門はやや回復傾向です。

今後も地域医療機関との連携強化に努め、どのような心血管疾患に対してもレベルの高い医療を提供できるよう、なお一層努力したいと思っております。

心臓カテーテル部門

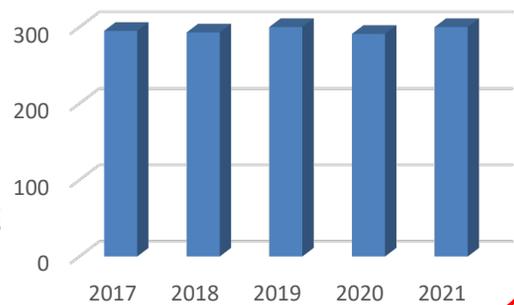
成子、松本、仲川、齋藤、藤澤が中心となって行い、昨年減少した心臓カテーテル治療(PCI)は昨年より増加、下肢治療(EVT)は引き続き増加傾向です。虚血評価目的のFFR(冠血流予備量比)を85例、心筋生検を42例施行しています。2016年4月より開始しました経カテーテル的大動脈弁留置術(TAVI)は47例施行しています。閉塞性肥大型心筋症に対する経皮的中隔心筋焼灼術(PTSMA)を4例施行しています。また7月から開始した僧帽弁閉鎖不全症に対するカテーテル治療(MitraClip)8例、8月から開始した卵円孔開存症閉鎖術は8例施行し、それぞれ良好な成績を収めています。



不整脈治療部門

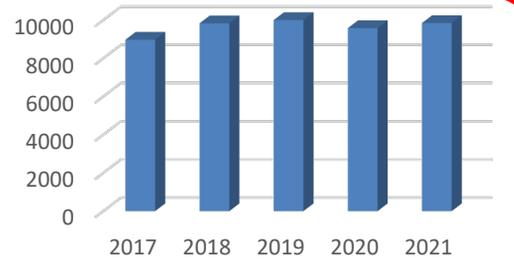
占野、林、田村が中心となりアブレーション治療の件数は306例で昨年より増加しています。心房細動のアブレーション治療は250例施行されました。心臓デバイスは、永久ペースメーカーや植え込み型除細動器、両室ペーシングを含め計119例を施行しています。また皮下植え込み型除細動器は5例、リードレスペースメーカーは8例、植え込みを施行しました。2020年10月から開始した左心耳閉鎖術は6例施行し、合併症なく留置に成功しています。実績の詳細は、別紙をご覧ください。

アブレーション治療



心臓超音波検査部門

阿部、松村、野村と生理検査技師が中心となって頑張ってくれました。昨年の成人心臓超音波検査数は、コロナ禍でしたが9845例、経食道エコー検査318例で昨年でした。弁膜症については、他のどの施設よりも精度の高い診断を行っていると思っております。



循環器内科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	阿部	松村	田村 (ペースメーカー)	仲川	成子
午後	阿部	松村			成子
	占野(ペースメーカー)				林

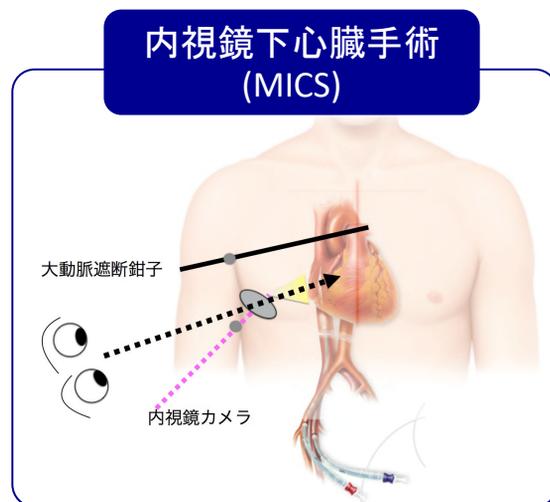
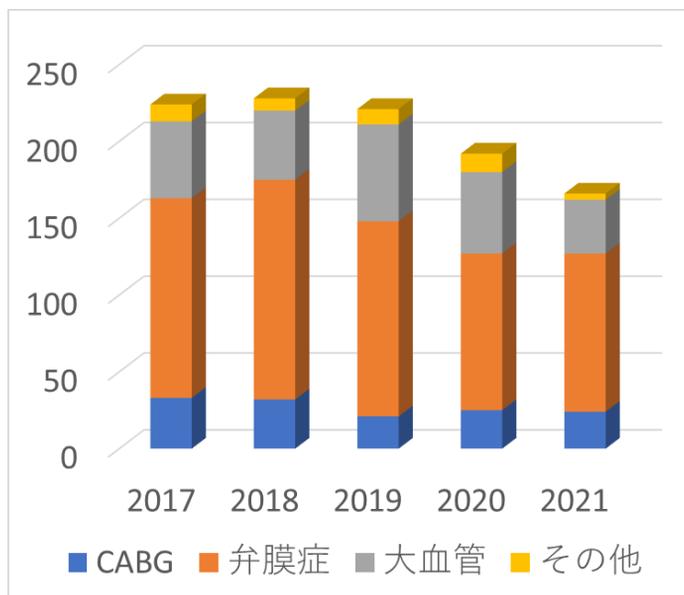
地域初診外来

	月	火	水	木	金
午前	成子	齋藤	阿部	成子	松本
					林(不整脈)
午後		齋藤(末梢動脈)	占野(不整脈)	仲川(肥大型心筋症)	松本(TAVI)

心臓血管外科の2021年の実績 —低侵襲治療の推進—

コロナの診療のため大阪市の病院としての役割を果たすため、通常診療は2年続けて症例数は減少していますが、その中でも新しい治療の導入を行ってきました。低侵襲治療として僧帽弁閉鎖不全症に対するカテーテル治療：**MitraClip**が導入され、**ロボット支援下心臓手術**に加えて治療の選択肢がましました。大動脈弁狭窄症は**経カテーテル大動脈弁置換術（TAVI）**は、大動脈弁狭窄症手術の7割以上に行い、その他の疾患にも低侵襲手術（**MICS**）をこの3年間に70例行っております。

最近5年間 心臓大血管手術数



最近5年間 末梢血管手術数



心臓血管外科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	青山	村上	阪口	下肢静脈瘤外来	尾藤
午後	青山	村上 (ロボット手術外来)	阪口	青山	尾藤

今号の循環器日記

我々循環器センターでは、臨床・教育・研究のいずれもが欠けることのないように力を入れております。国内学会をはじめ国際学会でも発表を行ったり、教育プログラムの運営を行ったりしています。今回は2月9日に腎臓・高血圧内科、糖尿病内科と共同してWEB開催した都島心・腎・代謝研究会の際に撮影した写真をご紹介します。座長の労をお取りいただいた竹谷先生、泉岡先生、そしてご視聴いただいた先生方に深く感謝申し上げます。



開会の辞 大阪市立総合医療センター 循環器内科 部長 循環器センター長 成子 隆彦 先生

講演Ⅰ 19:00~19:35 座長 竹谷クリニック 院長 竹谷 哲 先生

大阪心不全地域医療連携の会について
：ダパグリフロジンの処方至適時（だしどき）も含めて

大阪市立総合医療センター 循環器内科 副部長 阿部 幸雄 先生

講演Ⅱ 19:35~20:10 座長 大阪市立総合医療センター 腎臓・高血圧内科 部長 腎センター長 小西 啓夫 先生

CKDの治療戦略2022～SGLT2阻害薬を含めて～

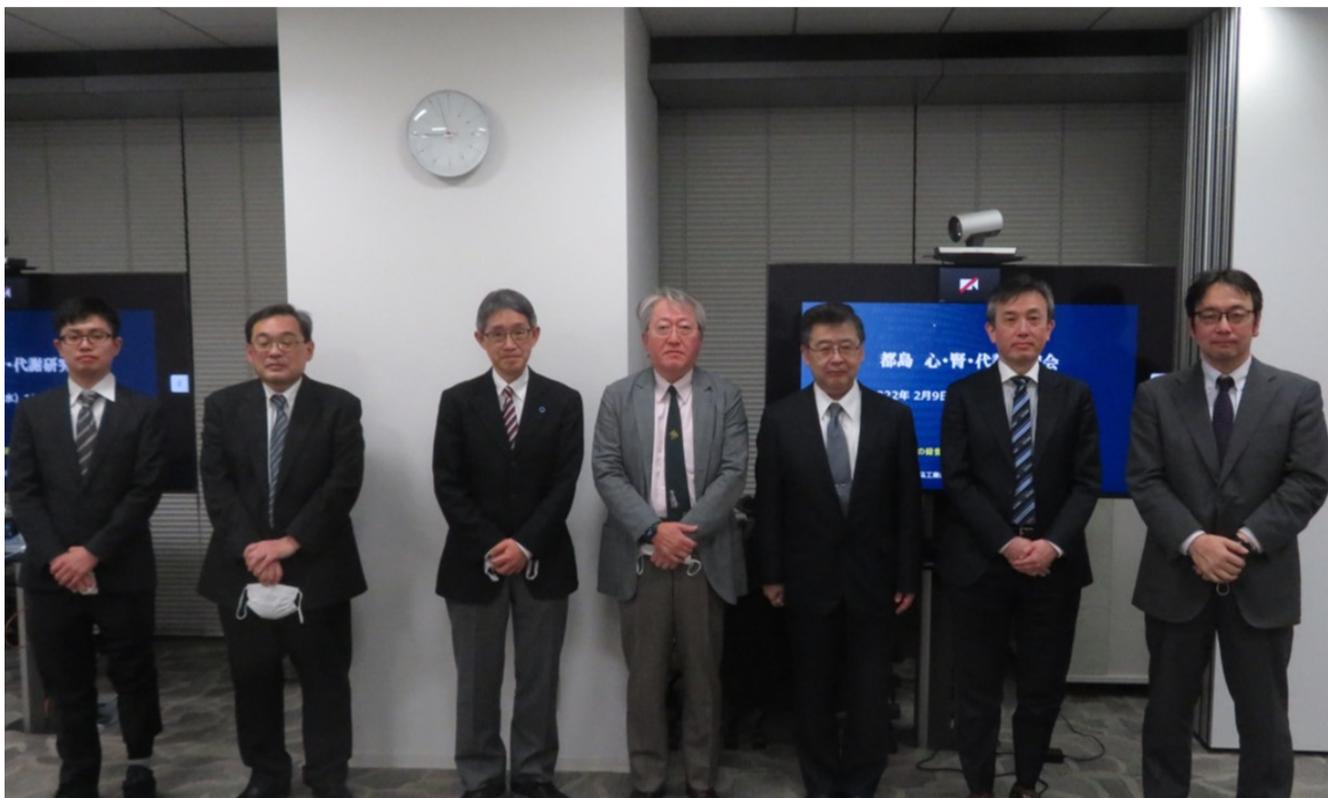
大阪市立総合医療センター 腎臓・高血圧内科 医長 山崎 大輔 先生

講演Ⅲ 20:10~20:45 座長 泉岡医院 院長 泉岡 利於 先生

心腎を守るミラクルドラッグ；EIM

大阪市立総合医療センター 糖尿病内科 部長 糖尿病・内分泌センター長 細井 雅之 先生

閉会の辞 泉岡医院 院長 泉岡 利於 先生



当院循環器内科、心臓血管外科は近隣の先生方からの循環器救急疾患をさらに迅速に受けられるようにするため、循環器センター直通電話（ハートライン）を設置しております。

ハートライン（循環器センター直通電話）

06-7662-7979

その他の場合は、御面倒ですが、
06-6929-1221（病院代表）から呼び出して下さい。